

障害があってもなくてもともに生きられる社会をめざして

# 地域とともに No.16

発行日 平成20年6月25日(水)  
発行 社会福祉法人 AJU 自立の家  
専務理事 山田昭義  
施設準備室 鬼頭義徳、小山秀隆  
名古屋市昭和区恵方町2-15  
TEL 841-5554 FAX 841-2221  
info@aju-cil.com

けんせつそくしん しよめい めい こ  
建設促進の署名13,400名を超えました

ちいき あたた しえん わ おお ひろ  
地域の温かい支援の輪が大きく広がっています

しよめい と く なご やきょうくしゃがいふくしいんかい しよめいていしゅつ ほうこく よ  
署名に取り組んだカトリック名古屋教区社会福祉委員会さまより署名提出の報告が寄せられました。

カトリック名古屋教区障害者連絡会(カ障連)と社会福祉委員会は、AJU自立の家の新施設建設賛成署名運動を昨秋より展開してきました。ご協力下さった方々に、厚くお礼を申し上げます。

去る6月10日、名古屋市長様宛に早期建設を求める要望書を賛成署名と共に提出し、健康福祉局の理事さん・福祉部長さん外2名の方々と促進をしていただく話し合いをしました。AJU自立の家からは、天野理事さん、曾田先生、山田専務、公職者の方、立石カ障連会長・大原社会福祉委員会委員長ほか関係者が5名同席しました。

昨年11月15日に既に提出した建設賛成署名の5,825名に加え、今回は7,671名で合計13,496名の応援をいただきました。11月の提出の折には、健康福祉局長さんより、この賛成署名に対し「重く受け止める」と答えがありましたが、具体的には、私たちが理解できるような市の進展の動きがここ半年間には見られませんでした。それで、AJU関係者から次の発言がありました。

障害者があたり前に生活できる機会を作ろうとしているのであって、計画が実現しないと世の中がますます病む心配がある。一部の反対のために立派な障害者福祉計画がストップしている状態で、市が率先して社会を正常にするため、もうひとふんばりしていただきたい。地域での現象は明らかに障害者差別であり、ここで引き下がることはないという意識を行政側も持っていただきたい。法務局から指導があった「障害者差別」の撤回を強力に求めました。

市側は、「必要な施設であり、建設することには変わりない」と答弁しました。

昨年の11月頃から地域でも支援して下さる方や、誤解から反対していたが説明会に参加して賛成に転向した人など増えてきており、もはや付帯決議は解かれてもよい時になっていると思います。

一日も早い建設をめざして、今後もAJU自立の家の活動を私たちも支援していきます。

カトリック名古屋教区社会福祉委員会





# だちまつり 大盛況！！ 5月25日(日)

## しょうがい ひと つど 障害がある人もない人もともに集う

ご来場まことにありがとうございました。

23回目のわだちまつりを開けたことは、地域のみなさまのおかげです。心よりお礼申し上げます。

AJU自立の家は、1985年に恵方町カトリック教会の古い建物でわだち作業所をスタートして以来、23年間地域のみなさまと歩んできました。

昭和区での活動をはじめた当初から地域のボランティアの方々には、掃除や食事づくり、生活面でのさまざまな介助など、数え切れないほど多くの方々に支えられてきました。

そんな中、「福祉を学ぶ会」の故 横田美枝さんから、「こういう施設は閉鎖的ではない」「地域に開かれた施設としてバザーをすべき」というご助言をいただき、以来この地で開催しています。

地域住民の方で、今年初めてボランティアに来てくださった方から、うれしい言葉を頂きました。

「こんなにたくさんの地域の方が来てくださるなんて、どこが反対なの？」

これからもみなさまとともに、福祉を創っていきます。今後とも、よろしく願いいたします。



わだちまつり前日は大雨。「この分だと今日は雨かなあ。」最悪のおまつりになりそうな気配。しかし、「わだちまつり」は過去22回、開催中の降水確率は0%。まさに奇跡のおまつりである。もし雨が降ればイベントは中止、来場の足も鈍ってしまう。そこで当日は雨にならぬよう、みんなでテルテル坊主を作って祈っていました。

今年もジククスはまた破られず、前日の101個のテルテル坊主が効いたのが雨は止み、11時には薄日までしてきた。おかげさまでおまつり会場は多くの人たちでごった返し、終了時間前に多くの模擬店で売り切れになるほどの盛況ぶりでした。

わだちまつりは障害を持つ仲間が企画や売り子などをつとめています。身体・知的・精神の仲間がジュースやクッキー、パウンドケーキ、フリーマーケットなどを担当し、また車いす体験コーナーなど障害を知ってもらう企画も行いました。

このような取り組みができるのも、女性会や学童、教会関係、地域のお店、ボランティアの皆さんをはじめ、地域のみなさまのご協力のおかげです。

この場をお借りして、多くの温かいご支援をいただきましたことに、感謝を申し上げます。

わだちまつり実行委員長 森 美親

# ちいきふくし ちいきじゅうみん りかい こえ 地域福祉セミナーで地域住民から理解の声



さ がつ にち がつ にち ちいきふくし かいさい  
去る4月26日と5月17日に地域福祉セミナーが開催されました。

4月のセミナーは「ともに生きる社会」をどのように実現していくか、そのために障害当事者および地域の人の役割について、また、安心と安全を基本に、生活のあらゆる場面でのバリアフリーの推進を参加者ととも考えたいと「ともに生きる社会と地域の安全・安心」と題しまして講演とシンポジウムを行いました。また、5月のセミナーは昭和区社会福祉協議会の共催で高齢であっても、若年であっても、年齢にかかわらず、身体的な障害や精神的な疾患をかかえながらも、ともに生きることが出来る地域づくりについて、認知症者の生活を切り口にして講演とシンポジウムを行いました。

りょう たすう さんかしゃ え しょうがいしゃ い ちいき じつげん む おお  
両セミナーともに多数の参加者を得て、「障害者とともに生きる地域づくり」の実現に向けて多くの理解が示された場となりました。

## 【4月セミナー参加者の声】

シナジウムの中で紹介された、北海道のある街での精神障害者と近所の住民とのやり取りを聞いて、なんて自然な付き合い方をしているのだろうと、とてもうらやましく感じました。そして、質疑応答のときに、参加者の中から「施設を作って欲しいと望んでもなかなか実現されないが、具体的にどうすれば実現できるのか。」という質問がありました。地域の人たちが新施設を望んでいることがわかりましたが、施設ができてからが本当のスタートだと思えます。一日も早く施設ができて、自然なお付き合いのできる関係が作れればと思いました。

## 【5月セミナー参加者の声】

「ただそこに存在する」のではなく、「地域で生きていく」という意味を改めて考えさせられ、胸が熱くなりました。また、障害をもった人も地域で生きていくために、いろいろな思いを共有し支え合う仲間と、社会復帰の訓練をする場所の必要性を強く感じました。シンポジウムの最後に、ボランティアグループの方が、「なぜこのような施設を反対するのでしょうか。私たちは、障害をもった人に対して何かをするということではできないかもしれないけれど、反対だけはしたくない。施設ができるよう応援していきます。」との発言がありました。地域の人たちの理解が広がっていることを心強く感じました。

## だい かい しょうわくふくし 第26回 昭和区福祉まつりシンポジウム

～ 私にとって“ともに生きる”地域とは～

にち じ へいせい ねん がつ にち にち 13:00～16:30  
日時 平成20年6月29日(日)

しょうわくやくしよ こうどう  
場所 昭和区役所 講堂(2F)

だい ぶ こうえん はやのていじ どうかいがくえんだいがく けいえいがくぶこうし  
第1部 講演 早野禎二さん(東海学園大学 経営学部講師)

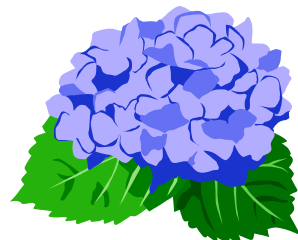
だい ぶ ざだんかい しかい あまのしずお はいゆう  
第2部 座談会 司会 天野鎮雄さん(俳優)

みやもとますじ しょうわくふくし じつこういいんかいたひょう  
コーディネーター：宮本益治(昭和区福祉まつり実行委員会代表)

しょうわく しょうわく しょうわく しょうわく しょうわく しょうわく  
シンポジスト：昭和区に暮らす障害、高齢、子育て支援さまざまな方々

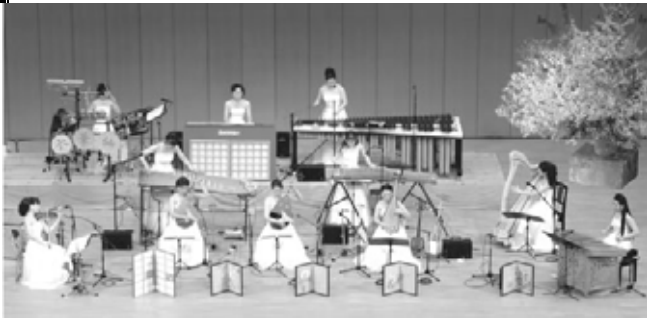
しゅさい しょうわく しょうわく じつこういいんかい  
主催 昭和区の福祉まつり実行委員会

きょうさい しょうわくやくしよ しょうわくしゃかいふくしきょうぎかい  
共催 昭和区役所、昭和区社会福祉協議会



情報コーナー

第17回ウェルフェアコンサート



日時：9月9日（火） 18:30 開演  
 場所：愛知芸術文化劇場コンサートホール  
 出演：六華仙 世界に誇れる東洋音楽の響き  
 入場料：A席5000円、B席3000円  
 TEL：841-5554（自立の家後援会）

多治見ワインフェスタ 2008

世界の修道院ワインの飲み比べ  
 今年もイベント盛りだくさん

日時：11月3日（祝） 10:00～14:00  
 場所：多治見神言修道院 チケット：2000円



福祉用具リサイクル情報

6月3日現在

使われなくなった福祉用具を捨てるのではなく、必要な方に情報提供いたします。

譲りますよ！

（金額の表示のないものは無料です）

・ ベッド

- ・ モーターベッド
- 3モーター（パラマウントベッド） \ 50,000 5ヶ月使用
- 2モーター（フランスベッド） \ 20,000 7年使用
- 1モーター（シーホネンス） \ 2年使用



・ 移動用品

- ・ 電動車いす（リクライニング） \ 30,000 5年使用
- ・ 介助車いす（リサイクル品） \ 3,000 10年使用
- ・ 介助車いす（オーダー品） 8年使用
- ・ シルバーカー \ 13,000 未使用
- ・ シルバーカー 応相談 3回使用
- ・ シルバーカー 1年使用



・ 入浴用品

- ・ リフト マイティエイド80（水圧式） \ 100,000 5年使用
- ・ リフト つるべF2セット \ 50,000 リサイクル品
- ・ 入浴用チェア（キャスター付） 数回使用



・ トイレ用品

- ・ ポータブルトイレ（ベルレット） \ 5,000 未使用
- （プラスチック製）（家具調トイレ自立） 未使用
- （家具調ウォシュレット） 2年使用



・ その他

- ・ リフト マイリフティ A \ 50,000 リサイクル品
- ・ 吸引器 \ 50,000 2年半使用
- ・ 吸入器 \ 10,000 未使用
- ・ 移動介助器 カールくん KH3B 5年位使用
- ・ スロープ（H9.5×W40×L85） 未使用

譲って欲しい！

ベッド、床周り品

- ・ 1、2、3 各モーターベッド
- ・ 折りたたみベッドかソファベッド

移動用品（待っている人数）

- ・ 各車いす〔手動・介助用・電動〕
- ・ 電動四輪車・歩行器・電動車いすユニット

AJUリサイクル相談事業部

TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159  
 昭区和御器所通3-12-1 なごや福祉用具プラザ内  
 毎週木曜日の朝日新聞（朝刊）にも、リサイクル情報  
 が掲載されています。リサイクル情報以外にも高  
 齢者、障害者向けの旅行情報、車いす利用者が入り  
 やすいレストラン情報など生活に役立つ情報をお届け  
 します。